

金融教育の視点を盛り込んだ指導の工夫

～格安ハンバーガーの謎を解く～

提案者 石津みどり

キーワード 食の安全 金融教育 キャリア教育

1. 技術・家庭科、家庭分野における「深い学び」

技術・家庭科、家庭分野において、今年度の研究主題「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成～「深い学び」の創造をめざして～」は、家庭科の授業で大切にしてきた概念と共通することが多い。生徒が自分の生活をよくするために意欲を持って学び、自分のこととして深く学ぶための学習を積み重ねているからである。そして、家庭生活を営む上で大切な技術の習得として、体験的に学びを深めている。更に、ほかの視点として、他教科や他の視点から学ぶことで、さらに、学びを深めることができると確信している。

2. 研究主題設定の理由

本校研究テーマ「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成～「深い学び」の創造をめざして～」を受けて、家庭科の領域である、消費生活の内容を「深い学び」にするため、金融教育の視点、キャリア教育の視点を加えた学びを研究し、授業の構成を工夫する。家庭科は、生活に密着しているのも、消費生活に欠かせないお金のこと、そのお金を稼ぐためのこと、日々の消費生活が職業の場に影響を与えることなど、金融教育とキャリア教育の視点を加え、家庭科の「深い学び」を研究する。

3. 家庭科の授業実践について

3. 1. 授業・研究の構想

今年度、小金井中学校、技術・家庭科家庭科分野の授業において、金融教育やキャリア教育に関わる内容を取り扱う。題材は、家庭科領域の内容であり、「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成」という本校の研究テーマについても踏襲するものである。

まずは金融教育の関する内容から述べる。日本にいと食の豊かさに目を見張り、何を食べるにも選択肢が多く、金銭に余裕があれば何でも手に入る。しかし、必ずしも、皆が豊かであるとはいえない。子供の六人に一人は貧困といえる時代、食生活に関わる落とし穴に目を向けてみる。そこには、価格を下げるために生じたゆがみが存在する。栄養価を軽んじること、食材に対する安全性の欠落、労働者への負担、品質や産地偽装などの基本的な社会ルールを無視した行為に発展する恐れを感じる。

東京学芸大学の金融教育研究におけるカリキュラム案のキャリア教育に関する内容には、「生活に必要な物資の選択と購入や環境への影響を考えた消費生活」がある。適正な価格の商品の購入についての学習は、生活者として大切な学びである。家庭科の授業の中で、商品の購入が生活を支える賃金につながることを知り、安価なものを求めることが労働者の賃金にも影響がでるのではないかと考えを巡らせ、社会で働くことへ学びを展開させたい。生活を支える仕事は、家族や地域の人々で担っていることであり、それによって生活が成り立っていることも理解させたい。

日常生活で何気なく行っている食品選びと適正な価格で物を買うことが、どのような影響を社会に及ぼすかを考え、健全な社会づくりのために、社会の一員としての意識を持った生活を営む姿勢をはぐくめる授業を構想した。

3. 2. 題材の目標

- ・ハンバーガーの適正価格を考えようとする。
- ・食品が格安で販売される理由と仕組みについて考える。
- ・自分の食品選びと適正な価格で物を買うことが社会にどのような影響を及ぼすかを理解しようとする。

3. 3. 授業の視点

視点1：本校研究テーマ 「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成」

視点2：金融教育として生きる力を育むお金の勉強（物の価格の裏側を考える）

視点3：キャリア教育として働いて賃金を稼ぐことに関連した学び（物の値段に関わる様々なこと）

3. 4. 目標・実践の意図

今回は、キャリア教育の視点を取り入れた家庭科の授業を行った。この授業では、食品の価格を考える学びを基本にし、ハンバーガーの適正価格を考えようとするのをねらった。100円ハンバーガーのように食品の価格が極端に安価の場合、その価格での販売が可能になるしくみについて考えさせたい。食品が格安で販売される理由としくみには、食品の安全・安心や労働者の賃金がかかっていることもあるからである。そして、自分の食品選びと適正な価格で物を買うことが、社会にどのような影響を及ぼすかを考えることができる消費者を育てたい。

キャリア教育としては、物の値段に関わる様々なことが、働いて賃金を稼ぐことに関連した学びにつながり、より良いものを消費者に提供したり、間接的でも社会のためになる仕事をしたりするなど、働くことの意義を考えるきっかけにしたい。金融教育としては、生きる力を育むお金の勉強になると考える。この授業では、個人が購入する基準をどのように考えているかを整理するために、ダイヤモンドランキングという手法を取り入れて行うものとする。これは、考えたり、話し合ったり生徒が主体的に活動するアクティブラーニングのひとつである。

3. 5. 指導計画

第1次	ハンバーガーから栄養を考えよう (バランスの良い食事をとろう)
第2次	ハンバーガーから食材の価格を考えよう (適正価格とはなにが影響するのだろうか)
第3次	格安ハンバーガーの秘密を考えよう 本時 (どうしたらこんなに安い価格になるのだろうか)
第4次	企業努力と企業の現在・社会奉仕と食の安全について (地球規模で社会を守るには、どうしたらよいだろうか)

3. 6. 授業の実際

<本時の展開>

①小題材名 格安ハンバーガーの秘密を考えよう

②本時の目標

- ・食品が格安で販売される理由と仕組みについて考える。
- ・格安ハンバーガーの価格の内訳を考えることができる。
- ・自分の食品選びと適正な価格で物を買うことが社会にどのような影響を及ぼすかを理解しようとする。

③本時の展開

	学習内容	生徒の学習活動	教師の支援他
導入 10分	・前回の授業で学んだ栄養バランスや食材の価格などにふれ、本日の授業でハンバーガーの費用の内訳について学ぶ授業の流れを確認する。	・栄養素の偏りや食材の価格について考えたことを思い出し、実際の価格の内訳について考える。 ・購入の基準を整理するために行うダイヤモンドランキングの手順を知る。	・前回の授業のワークシートや資料を準備する。 ・必要に応じて各自ワークシートに記入する。